

なみき通信



令和6年度 桜並木学園つくば市立並木小学校 学校だより13 12月号2

未来を切り拓く力をつけるために ～冬休み前集会にての話より～

保護者のみなさま、令和6年も残りわずかとなり、新しい年が近づいてまいりました。この一年を振り返ると、



子どもたち一人ひとりが多くの学びと成長を積み重ねてきたことと思います。子どもたちの成長の過程には努力や工夫、挑戦があったことと思います。ご家庭でもどのように頑張ってきたかを一緒に振り返り、その努力や工夫、頑張った姿を認めていただければと思います。具体的には、「この部分をよく工夫していたね。」などと、成果よりも過程に目を向けての言葉をかけていただくことが、子どもの自信と次への意欲につながります。

本日の校長講話でもお話をしましたが、新しい年を迎えるにあたり、ご家庭でも目標を立てることを大切にいただければと思っております。

目標とは、未来の自分に向けた「約束」です。目標は高すぎると途中で諦めてしまうこともあります。少し頑張れば達成できるようなものに設定することで、「できた！」という達成感を味わえます。そして、目標を達成したときに、「次はこれを頑張ってみよう！」と、さらに高い目標を立てていくことができます。この繰り返しで、子どもに成長する力を育みます。保護者のみなさまも子どもの目標達成のために褒めたり、励ましたりする言葉を大切にいただければと思います。なぜなら子どもは保護者に褒められることがモチベーションアップになるからです。子どもが挑戦している姿や努力している様子に注目し、「〇〇を頑張っているね。」「その工夫はすごいね。」と過程をほめることで、たとえ目標に達成できなかったとしても、その過程で学んだことが必ず子どもの力になっていきます。



子どもたちはこれからの長い人生で、何度も目標を立て、挑戦していくことでしょう。適切な目標を設定し、それを楽しみながら達成していく力、挑戦する精神力を、今の時期から少しずつ育てていければと思います。

新しい年が、お子さまたちにとってワクワクする目標や夢の一步を踏み出す年になることを、心から願っています。教職員一同 冬休み明け、笑顔いっぱいの子どもたちに会えることを、心から楽しみにしています。

校長 大村 千博

教職員の話し合いより 本校児童のさらに伸ばしていきたい力

20日(金)に全教員で並木小の子どもたちにさらに伸ばしていきたい認知能力、非認知能力などの話し合いをしました。認知能力は、「じっくり読み、深く考える力(テストなど表面的に読み、うっかりミスをしやすい。)」 「論理的に書く力」をさらに向上させること。非認知能力は、「自分の実態を捉え、目標を設定し、目標達成に向けて、諦めずに最後までやり抜く力(GRID)」 「苦手なことにも果敢に挑戦して立ち向かえる力」をさらに育てていきたいことなどが出ました。24日の校長講話でも上記の記事を子ども向けに内容や自分の実態を捉え、少し頑張れば達成できる目標を設定し、その目標達成に向けてじっくり頑張ることや振り返りを大切にすることなどの話をしました。1月から3月は、教職員で話し合った内容や学校評価のアンケート結果を受けての課題の改善を目指した授業を行っていきます。

